



二次元コードから
閲覧可能です。

地域ならではのよさを 体験的に学ぶ !!

文部科学省は、中学校学習指導要領解説「総合的な学習の時間編」で、地域や学校の特色に応じた課題について、次のように述べています。「全ての地域社会には、その地域ならではのよさがあり特色がある。古くからの伝統や習慣が現在まで残されている地域、地域の気候や風土を生かした特産品や工芸品を製造している地域など、様々に存在している。これらの特色に応じた課題は、よりよい郷土の創造に関わって生じる地域ならではの課題であり、生徒が地域における自己の生き方との関わりで考え、よりよい解決に向けて地域社会で行動していくことが望まれる。」

本号では、地域のよさを体験的に学び、様々な方法で発信している玖珂中学校を紹介します。

全学年が 総合的な学習で楽しく学んだ 玖珂地域のよさを 文化祭で発表



日頃から挨拶やお話をして、地域の人たちと助け合っ
て素晴らしい町をつくってきたい。 <中学生>

「頑張れ」「凄いな」など励ましの言葉を
たくさんもらいました。改めて地域の方
の優しさに気がきました。 <中学生>

1年生は、クラス対抗ウォー
クラリー大会(約10km)で、
玖珂地域を回り、魅力を探
り、感じたことを文化祭で発
表しました。 <中学生>

2年生は、地域の方を講師に迎え、ちぎり絵
や手話、玖珂太鼓、神楽などの文化を体験
し、学んだことを発表しました。 <中学生>

ちぎり絵は、自分だけの作品を作り上
げ、手話では言葉はなくても気持ちが
伝わることを学びました。 <中学生>

太鼓を教えてもらったこと自体が嬉しか
ったし、文化祭で神楽を多くの人に見
てもらって嬉しかった。 <中学生>

3年生は、学びの集
大成として、玖珂の魅
力を絵と写真で構成し
て展示したり、地域の
歴史を劇にし「鞍掛合
戦記」として上演したり
しました。 <中学生>

「地域の方々に声をかけてもらって嬉しかった」「地域の方と話せて嬉しかった」…活動を終えた中学生の感想の多くは、人間的なふれあいそのものに心を動かされたものでした。『自分がやる以上に緊張しています』…太鼓の指導者がつぶやいていました。カリキュラムの中で、人間的な成長を育む価値ある総合的な学習です。

